



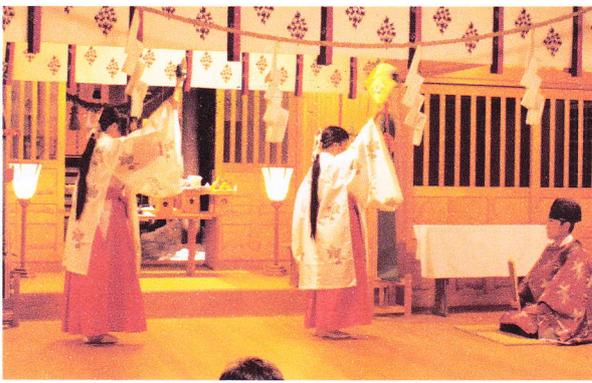
# 新人巫女さん二人迎えて

## 延喜式内林神社の歳旦祭

十兆ほど降り積もった雪の中  
卯年の歳旦祭が午前五時より、  
延喜式内  
林神社に  
於いて厳  
粛に齋行  
された。宮  
司の祝詞奏  
上に続いて、  
林さん  
ゆりさん  
(菊造さん  
方、野松  
佳奈子さ  
ん、開田  
美保さん  
齋藤玲奈さん  
林蒼葉さん  
八田萌絵さん  
ら六人の巫女さん



平成23年1月1日午前0時の林神社



(勇さん方)、齋藤玲奈さん  
(昇宗さん方)、林蒼葉さん  
(要知さん方)、八田萌絵さん  
(正美さん方)、ら六人の巫女さん

の舞の奉奏や縁起物の初売りなどが厳かなうちにも華やかに執り行われました。

また、今年、喜寿、古希、還暦、初老、厄年を迎えた方々三十人余りが参列され、それぞれの願いを込めて玉串を奉奠されました。ご芳名は以下の通りです。

二十五歳厄祓い

開田 健吾 北明

- |         |     |
|---------|-----|
| 開田 崇太   | 西川原 |
| 高島 祐太   | 公文名 |
| 齋藤小夕希   | 善導  |
| 齋藤幸恵    | 北明  |
| 四十二歳厄祓い |     |
| 五官 修央   | 北明  |
| 林 忠史    | 公文名 |
| 還暦      |     |
| 林 久     | 川原  |
| 開田 陸秋   | 西川原 |
| 林 正範    | 善導  |
| 古希      |     |
| 八田 誓治   | 正覚  |
| 林 武雄    | 坂東  |
| 林 清二    | 正覚  |
| 齋藤美子    | 川原  |
| 林 澄子    | 川原  |
| 喜寿      |     |
| 林 要矩    | 公文名 |
| 坂東 泰子   | 坂東  |
| 林 彼     | 公文名 |

## 書き初め天高く

### 公文名で伝統行事左義長

その昔、宮中で青竹を束ねて立て毬杖三本を結び、その上に扇子や短冊などを添え、正月の縁起物を焼いたのが始まりと言われる日本古来の伝統行事左義長が、今年も公文名で行われました。

本来は小正月（正月十五日）に行われるものですが、近年は成人式前後の連休を利用するようになり、今年も十六日に行われました。常会役員を中心に早くから藁、廃材、孟宗竹



書き初め天高く

などの材料を集め櫓にくみ上げた左義長に、夕刻五時半過ぎ火が入れられ、子供達が書道の上達を願って、火中に投げた書き初めが天高く舞い上がりました。左義長の火で焼いた餅を食べるとその年の病を除くと言われている。当日も参加者が餅や芋を持ち寄り、暖を取りながらおいしそうに賞味していました。昔に比べ子供たちの少ないのが、いささか物足りなく思われます。



火勢 最高潮！

## 般老連高齢者学級

二月十日午後一時三十分  
般若農村改善センター

記念講演  
講師 「北陸の天神様かざり」の著者

西村 忠氏 (南砺市福野在住)

北陸特に富山県では、正月に天神様を飾りますが、従来、それは加賀藩主前田家の祖先が菅原道真であるとの説が流布したことに由来するものとされてきました。西村さんは金沢の金融機関にお勤めの折、お膝もの金沢ではその風習が無いことに疑問を感じられ、いろいろと研究された結果、天神様飾りが庶民に広がったのは明治以降であり、幕末の福井藩主松平春嶽が領民に天神画像を飾ることを奨励し、それが売薬さんを通じて富山に伝播（でんぱ）したのでないかとの推論を打ち出されました。正月、何気なく飾っている天神様について興味深いお話が聞けます。ぜひご聴講ください。

## 該当者全員の加入を目指して

今年度は昭和二十一年四月二日から昭和二十二年四月一日の間に生まれた方々(小学校昭和三十三年年度卒業生)が光寿会の加入対象者となります。

光寿会は伝統的に全国でもトップクラスの高い加入率を維持しています。高齢者同士の連帯感を高め、親睦を深め、福祉・健康などを増進するため、該当する方々全員に加入を勧めましょう。

